

Ⅱ 総論

第1章 教育を取り巻く諸情勢と課題

1. 少子高齢化、人口減少の進行

我が国は、出生率の低下や平均寿命の伸長により、急激に少子高齢化社会に移行しています。本町においても人口減少は続いており、平成 27 年度の国勢調査では、総人口が 1 万人を割り、今後も減少が予想されています。

児童生徒数の減少を受けて、学校統合が進められ、平成 26 年度にはそれまでの小学校 4 校中学校 4 校の配置から、旧町村単位の軽米小学校、晴山小学校、小軽米小学校の小学校 3 校と軽米中学校の 1 校に統合されました。

また、岩手県教育委員会においても、県立高校における入学者の減少などから高校再編が進められており、県立軽米高校も平成 25 年度からそれまでの 3 学級 120 人から 1 学級減の 2 学級 80 人の募集定員となっています。

進む少子化の影響から子供同士の交流不足などにより、社会性を育てる場が減少しているため、意図的に体験や交流の機会を作るなどして、他者に対する思いやりや協調性を育むことが求められています。

また、高齢化社会が到来していることから、高齢者が楽しく集う場所の確保や、高齢者のための学習や文化・スポーツ活動の機会を充実させるとともに、長年培ってきた豊かな知識・経験を生かす機会づくりが求められています。

2. 高度情報化の進展

情報通信技術の飛躍的な発展は、情報通信ネットワーク社会を拡大し、同時に情報通信機器の普及・多様化は、日常生活に大きな変化をもたらしています。

現代社会では必要な情報を収集・選択し、情報機器を巧みに活用して、自ら情報を発信できる能力の育成が求められています。

また、I C T 環境の充実整備と活用に向けた教員研修を実施し、より一層の情報教育の充実に向けた体制作りが求められています。

さらに、メディアとのかかわり方を上手に抑制し、高度情報化に伴う人間関係の希薄化や情報をめぐるモラルや権利の保護など情報機器をめぐるトラブルを未然に防ぐ取組も必要です。

3. グローバル化の進展

交通・通信手段の発達によりスポーツ、文化などいろいろな分野で外国との交流が行われ、企業経済活動も国の枠を超えて営まれています。また、環境、エネルギー、食料、経済などの問題が、地球的規模の課題ともなっております。

国際交流が拡大している現代社会では、英語を始めとした語学力を身に付けたコミュニケーション能力の高いグローバルに活躍できる人材が求められています。

小学校からの外国語教育を充実させながら、語学力を高め、中高生の海外派遣等を継続的に実施し、人材育成を進めて参ります。

4. ライフスタイルの変化・価値観の多様化

技術の進歩により余暇時間が増え、人々の意識や価値観が多様化し、ゆとりや豊かさを求めて様々なライフスタイルへの欲求が強くなっています。

芸術文化、スポーツ・レクリエーション活動など幅広い事業展開と町内外の人々との交流活動等を推進し、質の高い生活を実現することが求められています。

本町に暮らす町民一人一人が、自分に合った学習活動により、充実した生活と生きがいのある人生を送るため、「生涯学習のまちづくり」を継続発展させていく必要があります。

5. 求められる生涯学習の在り方

科学技術など技術革新が速く、目まぐるしく変わる現代社会の中では、生涯を通して常に新しい知識を習得することが求められています。

将来を担う子供たちには、知識及び技能をもとに課題や目標に向かい、自らの力で切り開いていく適応力（社会を生き抜く力）を身に付けさせることが益々大事になってきました。

また、分権型社会では、国から地方へ、官から民への流れが進み、町づくりを進める主体や手法が多様化しています。

本町は、「生涯学習の町」を宣言し、協働参画による町づくりを進めて30年が経過し、「生涯学習フェスティバル」など各種団体による自主的な活動が展開されています。人口減少が進む町を継続発展させるため、時代によって変わる住民ニーズをしっかりと捉えた「生涯学習活動」を推進し、町民と行政による協働の町づくりを進める必要があります。